第2回 富士見市文化芸術振興委員会議事録

日 時	令和5年3月2日(木) 18:30~19:30						
会 場	富士見市役所2階市長公室						
出席者	水野	小栗	髙野	吉川	野村	菅野	秋元(節)
	0	0	0	0	0	0	0
	星野	秋元(玲)	加治	多田	関	山崎	
	0	0	0	欠	0	0	
	事務局:文化・スポーツ振興課 鈴木課長、高橋、熊						

1 開 会

2 議事

(1) 協議事項

・富士見市文化芸術によるまちづくり事業補助金について

【事務局より資料に基づき説明】

ほか、令和5年度の募集は1件である旨を伝えた。また、令和5年度は、予定 どおり補助率が4分の3となった旨を説明。

【質疑】

委員:令和5年度の募集が1件とのことだが、周知方法は。

事務局:市広報、市ホームページやSNSなどで情報を掲載するなど、令和3・ 4年度同様の広報媒体で行った。

委員:令和5年度から自己負担前提となったことで、補助金の意味はあるのか 疑問に思う。

事務局:本補助金制度を作るにあたり、最終的には補助金が無くても自走できるようになることが望ましいと考え、初年度と令和4年度は10分の10補助、令和5年度からは3/4補助とする制度設計とした。いただいた意見は今後に生かしていきたい。

委員:一度補助金が認定された申請者は、その後2年間申請が不可だと思うが、 それが理由で応募できる人も少なくなっているのではないか。追加募集 を検討してはどうか。

事務局:現在、追加募集も検討している。

委 員:実績でも見られるように、年度内で複数回事業を実施している団体があ る。事業の継続性があり良いと思う。

委 員:予算はどの程度か。

事務局:1団体上限20万円で5団体見込み、計100万円を予算計上。

他の自治体ではそれほど例のない補助金であり、補助金利用者からは高く評価されている。当市でもさらなる活用を進めたい。令和6年度

に向け見直しを検討したい。

委員:申請に必要な書類はホームページに掲載されているか。

事務局:書類一式はホームページにて確認できる。

(2) 報告事項

- ・富士見市文化芸術によるまちづくり事業補助金について
- ・令和3年度文化芸術事業の実績について
- ・令和4年度文化芸術事業の取組について

【事務局より資料に基づき説明】

ほか、指定管理者である公益財団法人キラリ財団でも市制施行50周年記念及び富士見市民文化会館キラリふじみ開館20周年記念として「薪能」「ニューイヤーコンサート(例年1回のところを今年度は2回開催)」を始め、多数の事業を実施した旨報告。

施設維持管理として同会館に対して実施した工事、修繕及び委託を報告。

令和4年度実施済:3件 メインホールのピアノオーバーホール修繕

天井反射板ライト更新工事

今後20年間の施設維持管理計画を定めた中長期

保全計画策定業務委託

終了予定:2件 駐車場のアスファルト隆起改善修繕

空調の部品更新工事

【質疑】

委 員:保全計画を策定したということは修繕や工事を今後定期的に行っていく のか。休館はするか。

事務局:修繕や工事を定期的に実施する予定。工事の内容は未定であるが、近隣 公共施設の事例を見ると、休館もすることも考えられる。

委員:来年度は休館の可能性はあるか。

事務局:ない。すでに施設予約が始まっているため。基本は、事前周知を行う。

委 員:これだけ大規模な施設の休館は影響が大きい。近隣市町を含め、代わり の施設の紹介は。

事務局:市内でも近年公共施設の大規模改修を随時実施しており、その際近隣市町の紹介はしていない。また、市内の別の公共施設にはそこで活動する多くの利用者の方が既にいらっしゃったり、キラリふじみと同規模の公共施設が市内にはなかったりと、代替施設の紹介は難しい。令和元~2年度に実施した舞台大規模改修では、利用者の皆様にご理解いただいた。今後対応は検討していく。

委員:公民館や交流センター等は少人数の団体が多く、市立集会所など代替施設も多くある。キラリふじみのような大規模施設の代わりがないので、 市の持つ情報でサポートしていただきたい。

事務局:難しい部分も多いが検討していきたい。

令和4年度は、市制施行50周年記念として多くの事業を実施したが、 市内小中学校の先生方にも児童生徒の皆様への情報共有や取りまとめ などご協力いただいた。感謝申し上げる。

・次期計画策定について

【事務局より資料に基づき説明】

- 3 その他
- 4 閉 会